

## 【取組内容】 端末持ち帰りで家庭学習を深化させる【③B】

**1 <事例の概要>**

本校では、端末の日常的な持ち帰りを実施しています。この取り組みの主なねらいは、端末の日常的な持ち帰りを通じて、家庭学習の習慣を確立すること、動画教材（次世代型キャリア教育コンテンツ）を活用して生徒のキャリア意識を醸成すること、アダプティブラーニング教材を活用して個々の学習進度や理解度に応じた学習を促進すること、そして、家庭学習と学校での学習を有機的に連携させ、学習効果を高めることにあります。

最終的には、生徒の学習意欲、学力、そして自ら学びを調整する力（自己調整学習能力）を向上させることを目指します。

**2-1 <具体的な取り組み 次世代型キャリア教育コンテンツ>**

動画教材としては、様々な職業を紹介する動画や、社会で活躍する人々のインタビュー動画など、生徒のキャリア意識を醸成する、いわゆる「次世代型キャリア教育コンテンツ」を選定しました。生徒は、自分の興味関心に合わせて自由に動画を選択し、視聴することができます。視聴後には、簡単な感想や学んだことをオンラインの学習記録シートに記入するよう促しました。教員は、生徒の視聴状況や学習記録を定期的に確認し、必要に応じて個別のコメントやアドバイスを送信することで、生徒の学びをサポートしました。また、授業の導入やまとめの場面で、これらの動画教材を効果的に活用し、家庭学習と学校での学習内容との連携を図りました。

**2-2 <具体的な取り組み アダプティブラーニング教材>**

アダプティブラーニング教材としては、個々の生徒の学習進度や理解度に合わせて、問題の難易度や出題内容が自動的に調整される教材を導入しました。主に国語、数学、理科、社会、英語で、宿題や自主学習として活用しました。生徒は、自分のペースで、自分に必要な学習に取り組むことができます。教員は、アダプティブラーニング教材の管理画面から、生徒の学習状況（学習時間、正答率、つまづきポイントなど）をリアルタイムで把握し、個別の指導に役立てました。授業中にアダプティブラーニング教材を活用する時間を設けることで、家庭学習と学校での学習の連続性を確保しました。

## 【取組内容】 端末持ち帰りで家庭学習を深化させる【③B】

**3-1 <成果>**

動画教材の視聴を通じて、生徒たちは多様な職業や働き方を知り、自分の将来について具体的に考えるきっかけを得ることができました。アンケート結果からも、多くの生徒がキャリアについて関心を深めたことが明らかになっています。アダプティブラーニング教材の活用により、生徒は自分のペースで、自分に必要な学習に取り組めるようになり、学力向上にもつながりました。特に、これまで学習につまずきを感じていた生徒が、自信を取り戻し、積極的に学習に取り組むようになる姿が多く見られました。

家庭学習と学校での学習が有機的に連携することで、学習効果はさらに高まり、生徒の学習意欲、そして自ら学びを調整する力（自己調整学習能力）も向上しました。

**3-2 <課題>**

家庭のICT環境格差、情報モラルに関する問題、一部の生徒の過度な端末利用による学習時間の偏りなどです。

**4 <今後の展望>**

まず、家庭学習の質をさらに高めるため、保護者向けの学習会や情報提供を充実させます。保護者に対して、家庭学習の重要性や、子供の学習をサポートする方法などを具体的に伝え、家庭と学校が連携して生徒の学びを支える体制を強化します。

家庭のICT環境が十分でない生徒への支援策（モバイルルーターの貸し出し、学校施設の開放など）を拡充し、学習機会の均等を図ります。情報モラルに関する指導は、今後も継続的に行い、生徒が安全に端末を利用できるようにします。また、生徒の学習時間を適切に管理し、過度な利用を防ぐための仕組みづくりも進めます。

教員のICT活用指導力を向上させるための研修も、引き続き重要な取り組みです。アダプティブラーニング教材から得られる学習データを分析し、より効果的な指導方法を開発するなど、データに基づいた指導の改善にも力を入れていきます。

すとともに、一斉に同じ問題をやらされる宿題から、AIドリルなどを使って自ら選ぶ宿題にしていることについて

